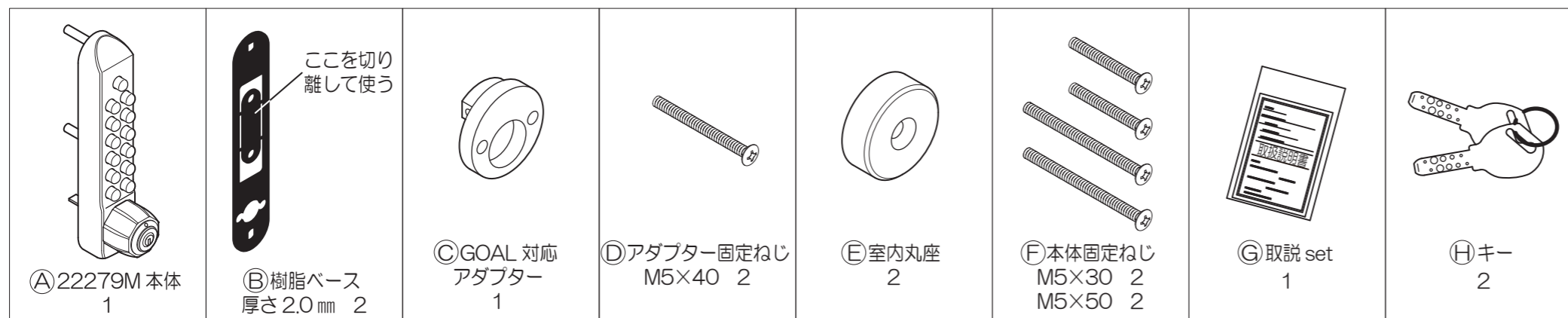


# KEYLEX KL500 - 22279M -

## GOAL (LH・HN・SAK) シリンダー取替 取付説明書

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。  
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。



### 1 取付前の準備

【1】現在取り付けてある錠の確認 『GOAL LH』『GOAL HN』『GOAL SAK』錠であることを確認します。

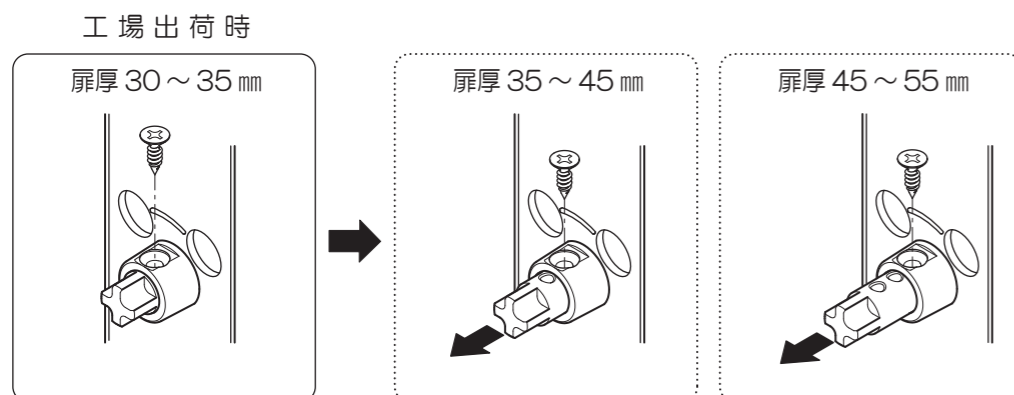
【2】記憶番号の確認 Ⓐ 22279M 本体にセットされている記憶番号を確認します。別紙 取扱説明書をご覧ください。

【3】取付扉厚を測ります。対応扉厚は 30～55 mm です。

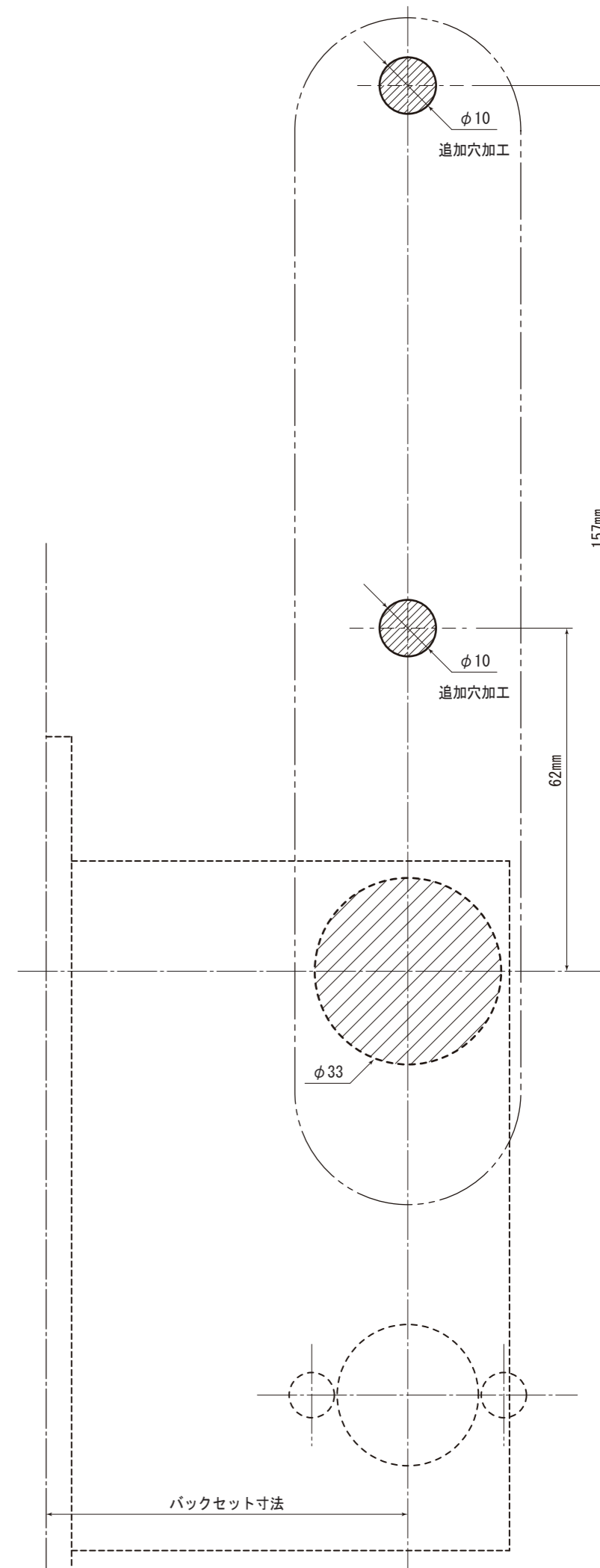
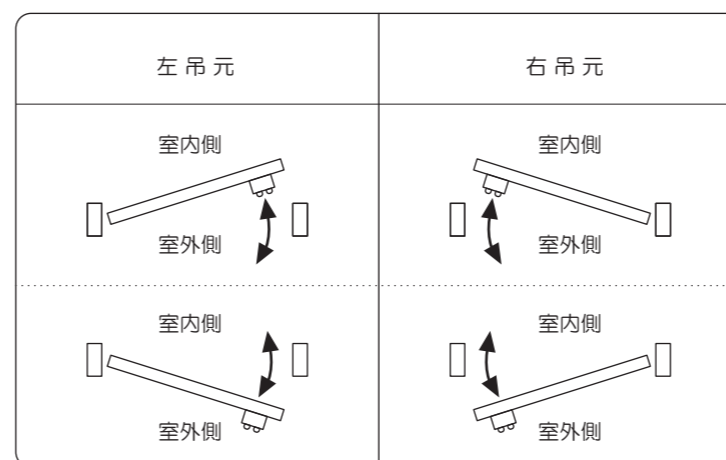
Ⓐ キーレックス本体は工場出荷時、対応扉厚は 30～35 mm です。

扉厚 30～35 mm：そのまま裏面 ② に進んでください。

扉厚 35～55 mm：Ⓐ キーレックス本体裏のテールピースを右図のように調整します（テールピースの穴位置に注意）。

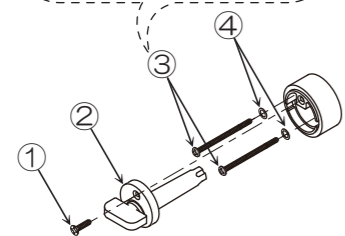
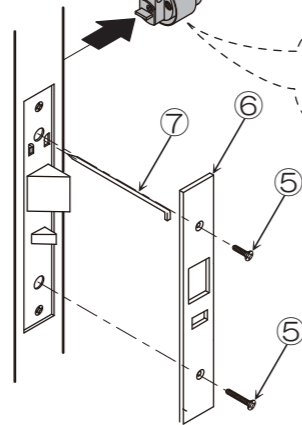


【4】扉の吊元の確認をします。④ で必要です。



## 2 既存シリンダーの取り外し：扉は開けたままの状態、⑤ 作動確認までをおこないます。

室内側

③ シリンダー固定ねじは  
使いません⑧ シリンダーは  
使いません

室外側

I：サムターンを90度回します（錠のデッドラッチが収まります）。

①サムターン固定ねじをゆるめ、②サムターン座をはずします。

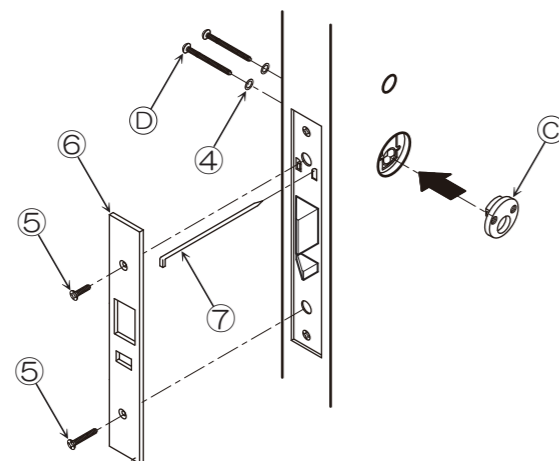
II：③シリンダー固定ねじ2本をはずし、④座金をはずします。

III：⑤フロント板固定ねじ2本をゆるめ、⑥フロント板をはずします。

IV：⑦シリンダー止めピンを抜き、⑧シリンダーを取りはずします。

## 3 アダプターの取り付け

室内側



室外側

I：図の向きに③アダプターを取り付け、⑦シリンダー止めピンで固定します。

II：④座金と、⑩アダプター固定ねじで、③アダプターを固定します。

III：⑥フロント板をセットし、⑤フロント板固定ねじ2本で固定します。

NAGASAWA

株式会社 長沢製作所

www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

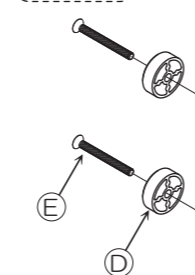
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092

## 4 扉への追加穴加工

フロント板上端からの寸法とバックセット寸法を確認し、垂直上部へ2ヶ所（裏面切欠き図参照）に、直径10mmの貫通穴を開けてください。

## 5 キーレックス本体の取り付け

室内側



本図は右吊元仕様

ロックターンの  
アイマークは上向き

室外側

キーレックス本体裏側  
【吊元変更ねじとテールピース固定ねじの位置】

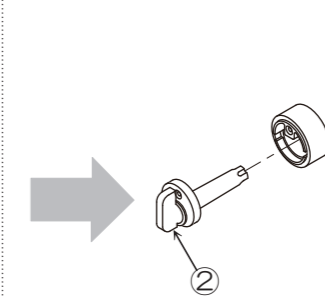
右吊元

テールピース固定ねじ  
左側に向ける

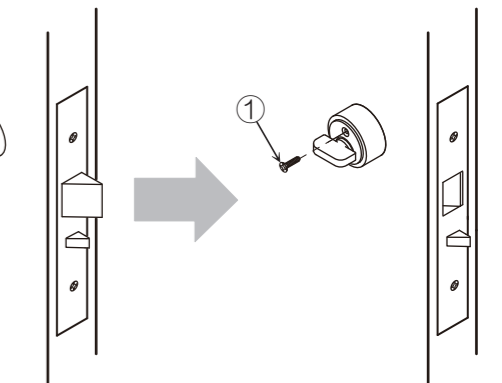
左吊元

テールピース固定ねじ  
上面に向ける

室内側



室内側



キーを抜いた状態で取り付けます。

I：室外側に④キーレックス本体（ロックターンのアイマークは上向き、テールピース固定ねじの位置を吊元（裏面参照）とあわせて）⑤樹脂ベースをセットします。

II：室内側から⑥室内丸座をセットし、⑦本体固定ねじ2本で固定します。

⑦本体固定ねじは、扉厚にあわせてお使いください。

※ ④キーレックス本体と扉厚の微調整には、⑤樹脂ベースで対応してください。

III：室内側から②サムターン座を  
図の向きで差し込みます。IV：②サムターン座を90度回し  
（デッドラッチが収まります）  
①サムターン固定ねじで固定  
します。

## 6 作動確認： ロックターンが作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、吊元にあわせたテールピース固定ねじの向きを確認してください。

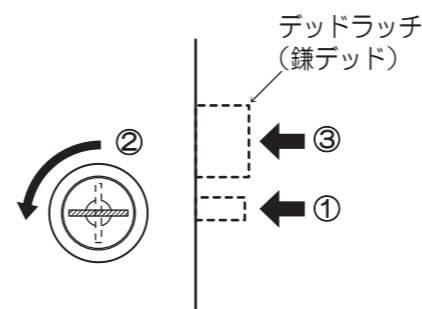
施錠：①トリガーを押し、②デッドラッチが固定された（鎌錠は鎌デッドが飛び出す）ことを確認します。

室内側

解錠：①錠のトリガーを押さえたまま、

②サムターンを回し（ない時にはレバーハンドルを動作させ）

③デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



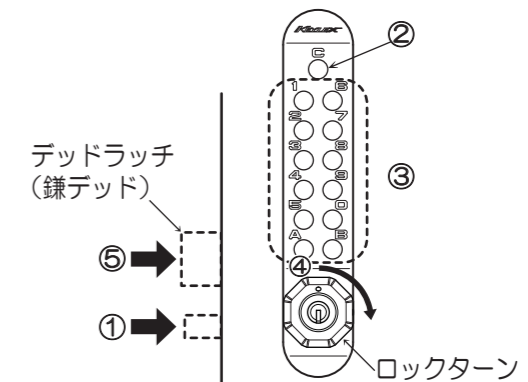
室外側

解錠：①錠のトリガーを押さえたまま、

②Cボタンを押し、③正しい記憶番号を押します。

④ロックターンを回し、

⑤デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



※本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

鍵付タイプですので、ボタン操作を行わずにキー操作で施解錠できます。施錠：①シリンダーにキーを入れて回し、②デッドラッチが固定（鎌デッドが出る）を確認します。  
解錠：①シリンダーにキーを入れて回し、②デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。